

国会に提出します

《 請 願 事 項 》

1. 教育予算を OECD 諸国並に計画的・段階的に増やし、ゆきとどいた教育条件整備をすすめてください。
2. 国の責任で小・中学校、高等学校の 35 人以下学級を一刻も早く実現してください。
また、幼稚園や特別支援学級・学校の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
3. 教育費の保護者負担を軽減して教育の無償化をすすめてください。
 - (1) 「高校無償化」を復活し、公立・私立ともに学費の無償化を実現してください。
 - (2) 私学助成国庫補助の増額と、就学支援金制度を更に拡充してください。
 - (3) 必要とするすべての高校生・大学生に対する返済不要の「給付制奨学金」をつくってください。
 - (4) 大学等の学費を引き下げてください。
4. 公立・私立ともに豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - (1) 臨時教職員ではなく、正規・専任の教職員を増やしてください。
 - (2) 特別支援学校の「設置基準」をつくり、特別支援学校の過大・過密問題を解消してください。
 - (3) 体育館等の施設を含めた学校耐震化率 100 %を早期に実現してください。
5. 東日本大震災などの地震や自然災害、福島原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興をすすめてください。

県議会に提出します

《 請 願 事 項 》

1. 教育予算を大幅に増額してください。
2. すべての学校で 30 人以下学級を実現してください。
3. 複式学級の解消をさらにすすめてください。
4. 教育費の無償化にむけて、父母負担の軽減をすすめてください。
5. 給食費の無償化をすすめてください。
6. 私学の学費実質無償化を早期に実現してください。
7. 私学助成の国庫補助制度を守り、私学助成を大幅に増額してください。
8. すべての障害児に障害と発達に応じた生活と教育の場を拡充してください。
9. 臨時的教職員ではなく、正規・専任の教職員を増やしてください。
10. 学校の耐震化を早急にすすめてください。

なまえ	住 所

両方に署名してください

なまえ	住 所

※ ご家族の方の署名もお願いします
いただいた署名の住所・氏名は請願目的以外には一切使用しません

※ ご家族の方の署名もお願いします
いただいた署名の住所・氏名は請願目的以外には一切使用しません

子どもたちの笑顔あふれる学校をつくらう！
ゆきとどいた教育の実現をめざそう！

子どもたちの笑顔あふれる学校をつくらう！
ゆきとどいた教育の実現をめざそう！

山口県会議長 様

小・中・高校の30人学級実現、私学助成の大幅増額、
教育費の父母負担軽減、障害児教育の充実を求める

請願署名

《 請 願 趣 旨 》

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を保障することは、県民すべての願いです。その実現のために教育予算を充実させ、教育条件や教育環境の改善が求められています。

山口県では2011年度から、県独自の予算措置による小中学校の35人以下学級を全国に先がけて実現し、13年度からは「小学校1年生の30人学級化」が一部の学校ですすめられています。しかし、高等学校の35人学級化は進んでいませんし、すべての小中学校の30人学級化実現への要望も高まっています。また、定数内の臨時教職員の増加、代替の未配置により「教育に穴があく」状態が起こるなど、子どもたちの「学習権」を十分保障できていない実態もあります。少人数教育の推進、教職員定数や正規教職員の大幅増によって、子どもたち一人ひとりの個性を生かす教育を実現することが必要です。

日本の「子どもの貧困率（2015年度）」は13.9%となっています。一方で日本の「教育機関への公財政支出の対GDP比（2013年度）」は3.2%でOECD諸国の中では下から2番目の低さです。就学援助制度の充実、「高校無償化」の復活、県独自の給付型奨学金制度の措置等、先進国では常識の「教育の無償化」を私立学校も含めてすすめることが求められています。また、障害児教育においては、在籍者数が増加していく中で一層の拡充が求められます。

つきましては、すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめ、心かよう学校をつくるために、請願事項についてすみやかに実現されますようお願いいたします。

山口県ゆきとどいた教育をすすめる会
山口県私学助成をすすめる会
山口県障がい児の教育を進める会
子どもと教育をまもる山口県民会議

【連絡先】 山口県ゆきとどいた教育をすすめる会（☎083-922-0766）
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館 高教組内

衆議院・参議院議長 様

国の責任による 35人学級の前進、教育の無償化、教育条件の改善を！
2017年度すべての子どもたちにゆきとどいた

教育を求める全国署名

《 請 願 趣 旨 》

国の制度としての35人以下学級は、小学校1、2年生までです。子どもの数の減少している今、わずかな教育予算増で35人以下学級をすすめることができます。

「高校無償化」に所得制限が導入され3年経ち「見直し」がおこなわれます。所得制限をなくし「高校無償化」復活を求めることが必要です。また、「高校生等奨学給付金」については、教育予算増によって給付制奨学金制度の拡充が求められます。さらに、大学生への「給付型奨学金」もつくられましたが、対象者数も額も決して十分なものとはいえ、いっそうの改善が必要です。

国連は日本政府に対して「高等学校等就学支援金」の改善を求め、2018年5月31日までに回答するよう求めています。いまこそ、高校・大学教育の無償化を実現するとりくみを広げることが重要です。

また、特別支援学校の児童・生徒数が急増していますが、学校建設等が追いつかず劣悪な教育環境のまま放置されています。幼稚園から大学まですべてにある「設置基準」を特別支援学校につくることはまったなしの課題です。さらに、特別支援学級の学級編制標準を引き下げることでも必要です。

日本の「教育機関への公財政支出の対GDP比（2013年度）」は3.2%でOECD諸国の中では下から2番目の低さです。OECD平均並みの4.5%まで段階的に引き上げていけば、小・中・高校の35人以下学級の実現のみならず、一人ひとりにゆきとどいた教育を保障するための教育条件整備と、公立・私立ともに就学前から大学まで教育の無償化をすすめることが可能となります。安倍首相がいう憲法「改正」をしなくても無償化できることは明らかです。

国に対し、憲法と子どもの権利条約が生きる学校をつくるため、以下のことをお願いします。

山口県ゆきとどいた教育をすすめる会
山口県私学助成をすすめる会
山口県障がい児の教育を進める会
子どもと教育をまもる山口県民会議

【連絡先】 山口県ゆきとどいた教育をすすめる会（☎083-922-0766）
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館 高教組内